

# 第1章 富士市CNF関連産業推進構想とは

## I 推進構想策定の背景と目的

国は、2014年に製紙産業の強みを活かした「高度バイオマス産業創造戦略」を策定し、森林資源の有効活用や国内製紙産業の再興、日本から世界に発信する競争力のある新材料の開発促進等にあたり、木質バイオマスを原料とした新素材CNFを新たな産業として後押しすることとしています。

本市では、これまで「第2次富士市工業振興ビジョン」等の行政計画に基づき、CNF関連製品の開発支援や関連企業の誘致等に取り組んできました。「富士市CNF関連産業推進構想（以下、「推進構想」という）」を策定し、推進構想に基づく諸施策を展開することにより、今後更にCNFの用途開発を促進し、CNF関連産業の集積化を図り、本市産業全体の活性化、ひいては持続可能な産業構造及び社会の構築を目指します。

### 推進構想で示すこと

#### 目指すべき将来像と、その実現に向けた方針を設定

CNFに関する動向、本市の地域特性や産業分析等を踏まえ、目指すべき将来像と、将来像を実現するための方針を定めます。

#### CNF関連産業創出に向けた施策を明示

CNFに関する課題の抽出・整理を行い、現実的かつ効果的な、短期、中期、長期における施策、アクションプランを定めます。

#### 施策及び取組を具現化するために必要な推進体制を明示

CNFの素材開発、用途開発を効果的に推進するための人材育成、産学官等の役割・連携体制等について明記します。

持続可能なまちづくり ものづくりのまち 富士市

豊かな市民生活へ

経済の新たな好循環

市内産業の活性化

CNF関連産業の創出・集積

市内産業の技術や製品

植物由来の新素材  
CNF（セルロースナノファイバー）

## 2 CNFを活用した取組を富士市で進める意義

### 本市の基幹産業である紙・パルプ産業が有するCNFに関する技術とノウハウ

本市は豊富な水資源、木材の供給地や製品消費地への近接等の背景もあり、製紙産業が集積し全国有数の「紙のまち」として発展してきました。紙の原料はパルプであり、パルプの主成分はセルロースであることから、本市の基幹産業である製紙産業は、セルロースを扱う分野において、長年培ってきた技術とノウハウが蓄積された強みのある産業といえます。

また、日本製紙株式会社が東京都から市内に移転したCNF研究所や静岡県富士工業技術支援センター等、事業者の持つ技術やノウハウをCNFの実用化につなげるための施設が立地しています。

近年電子媒体の急速な普及や人口減少等による紙の需要減少に伴い、製造品出荷額も減少傾向にある等、本市基幹産業である製紙産業は厳しい状況にあります。そのような中、セルロースの新たなマテリアル利用として、CNFによる新市場の開拓や新技術による製紙産業の興盛が期待されます。

### 環境に優しい新素材CNFへの注目 ～国や静岡県でも取組を後押し～

世界各地で様々な環境問題が顕在化している中、化石燃料を使わない社会に移行しつつあり、バイオマスの活用をはじめとした環境負荷が小さく、環境に配慮した循環型社会・持続可能な社会の構築が求められています。

従来、製紙産業は、エネルギー、バイオリファイナリー、マテリアル、リサイクル等、バイオマスの活用に関して先駆的な分野であり、今後、他の産業や企業活動においても、環境に配慮した事業展開が求められています。このような背景の中、CNFはバイオマスのマテリアル利用として注目が集められています。

また、バイオマスの利活用を国家レベルで推進し、新産業を創出すべく、CNFは国が掲げる「日本再興戦略」や「未来投資戦略」等にも明記され、国を挙げて取組を推進しており、静岡県をはじめとした全国各地でCNF推進組織の活動も活発化しています。

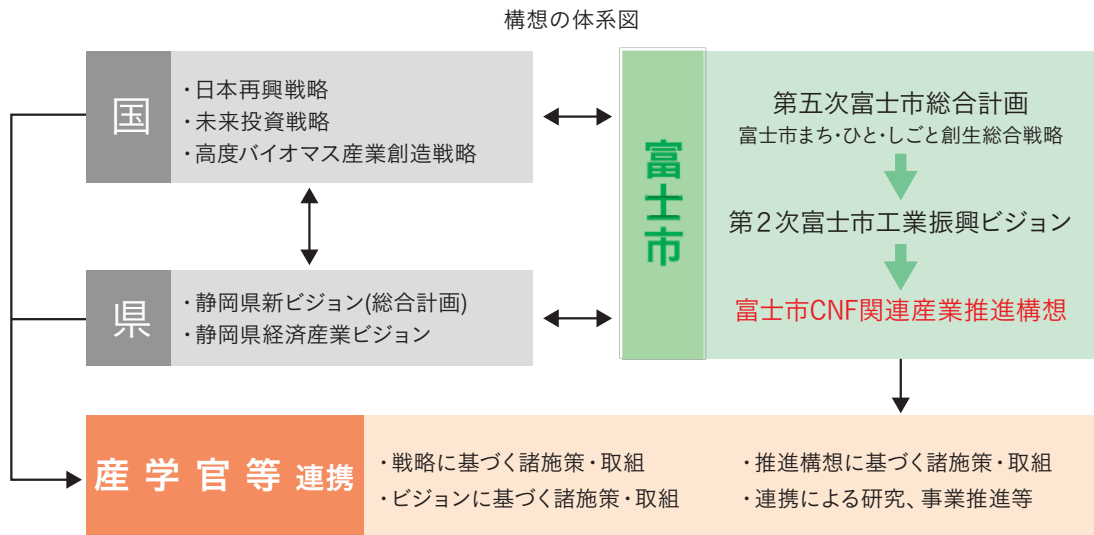
### 強みと機会を活かし、市内産業の活性化・経済の好循環を創る

CNFは、様々な用途に活用される可能性がある新素材です。本市には製紙産業をはじめ、CNFの素材開発、用途開発と関連が強い多彩な産業が集積しています。

本市の強み（紙のまち、CNFと関連が強い多彩な産業の集積等）や機会（新素材CNFへの注目、国や県の取組後押し等）を捉え、CNFを活用した高付加価値製品の製造や新たな分野への進出を図ることにより、市内産業の活性化、経済の好循環が期待されます。

### 3 推進構想の位置付け

推進構想は、本市の「第五次富士市総合計画」や「第2次富士市工業振興ビジョン」等に即すとともに、国・県の関連計画との整合・調整を図り、推進構想に基づく諸施策・取組を、産学官等の連携のもと展開します。



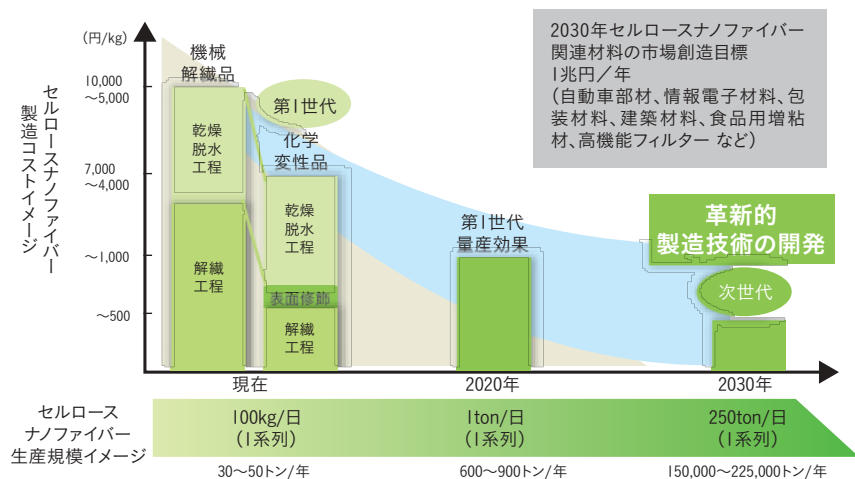
### 4 構想期間

CNFの取組は、国が策定した「高度バイオマス産業創造戦略」において、2030年にCNF関連材料の1兆円規模の新市場創出の目標が掲げられ、国を挙げて全国各地で推進されています。

その動向も踏まえ、推進構想は、2030年までの期間とし、目指す将来像の実現に向けて、諸施策を展開します。

なお、社会経済情勢やCNFを含めた産業動向等に変化が生じた際は、必要に応じて見直しを行います。

CNFによる新市場創造戦略  
市場拡大には、革新的製造技術の開発による設備・製造コストの大幅な低減が望まれる



出典：経済産業省「平成25年度製造基盤技術実態等調査」より作成

	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)	2026 (H38)	2027 (H39)	2028 (H40)	2029 (H41)	2030 (H42)	
高度バイオマス産業創造戦略	[Active]												
富士市総合計画	第五次後期	[Transition]				第六次前期	[Transition]		第六次後期	[Transition]			
富士市工業振興ビジョン	第2次前期	[Transition]				第2次後期	[Transition]				第3次前期	[Transition]	
富士市CNF関連産業推進構想	[Active]							検証	[Active]				検証